

一般質問

障がい者雇用促進に向けて
新たな取り組みを

吉川 新議員
(新政みえ/度会郡選出)



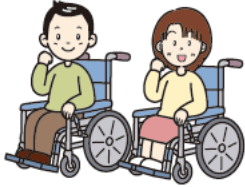
問

県ではさまざまな障がい者雇用促進に向けた施策を実施していますが、実雇用率の全国順位は低位に推移しています。このような中、障がい者の能力を引き出し、地域と連携することで成果を上げている事業所も存在します。障がい者雇用の実態をしっかりと調査・分析した上で、新たな取り組みを行うべきと考えますが、いかがですか。

答

県内の約1万4千事業所を対象に障がい者雇用の実態調査を実施し、その結果に基づき支援施策を検討するなど、取り組み全体の底上げを図るほか、農業分野での障がい者雇用を促進する新たな事例を検証し、実習から就労、定着支援までをサポートする仕組みを構築し、他分野での展開を検討していきます。

その他の質問事項
○林業の振興 ほか



バリアフリー観光への
取り組み

中川 正美議員
(自民みらい/伊勢市選出)



問

伊勢志摩地域では、伊勢志摩バリアフリーツアーセンターにより①バリアフリー観光の先駆的な取り組みが重ねられ、全国をリードしてきました。このような中、6月21日に伊勢市で「バリアフリー観光全国フォーラム」が開催され、知事から「日本一のバリアフリー観光県推進宣言」が表明されると聞いていますが、今後の県としての取り組み方向について伺います。



答

「日本一のバリアフリー観光県推進宣言」は、三重県のバリアフリー観光が日本一と言われるよう、官民が一体となって取り組みを進めるキックオフの宣言にしたいと考えており、これを契機に県民のみならずとも、今まで以上に温かいおもてなしの心をもって、観光のバリアフリー化に取り組んでいきます。

その他の質問事項
○子どもたちの学力の向上 ほか

伊勢詣から熊野詣への
参詣と観光

大久保 孝栄議員
(鷹山/熊野市・南牟婁郡選出)



問

今年10月には伊勢神宮の式年遷宮が執り行われ、また来年には熊野古道の世界遺産登録10周年を迎えます。伊勢への参詣客を東紀州へと誘客する仕組みや取り組みについて、具体的にどのようなことを考えていますか。

また、高速道路が開通すれば、伊勢から熊野まで高速バスを運行することにより、人の流れも東紀州へ向かうのではないかと考えますが、いかがですか。

答

外宮前観光案内所などで熊野古道の観光情報の提供を行うほか、伊勢と熊野のつながりを紹介するセミナーの開催や熊野古道モデルウォークを行います。

また、高速道路の延伸に伴い、高速バスの増便を働きかけるとともに、旅行会社と連携して伊勢と東紀州を周遊する旅行商品づくりに取り組みます。

その他の質問事項
○紀伊半島大水害からの復旧状況 ほか



熊野古道「馬越峠」

観光と他分野産業の
融合・連携

濱井 初男議員
(新政みえ/多気郡選出)



問

昨年7月に策定された「みえ産業振興戦略」には、観光の産業化として、医療産業やスポーツ振興と連携した観光を展開するなど、観光と他分野産業が融合・連携した取り組みを進めていくとありますが、このことについて県としての具体的な取り組みが見えてきません。現在の取り組み状況と今後の展開についてお聞かせください。

答

県内では、各種大会や合宿を誘致するスポーツツーリズムが各地で行われているほか、夜景クルーズなど産業観光も盛んになりつつあります。今後、こうした取り組みを進めていく中で、県内のサービス産業やものづくり産業への波及も含め、観光分野と他分野の連携を図っていきます。

その他の質問事項
○防災・減災対策 ほか



四日市コンビナートの夜景

文中の傍線部分については、5ページに用語解説を掲載しております。